

感圧式タッチパッドの製作

1 相談内容

相談者は対象者本人です。対象者の依頼で感圧式タッチパッドの感覚を残したマウススティックを製作しましたが、対象者の使う感圧式タッチパッドは商品として廃番となっており、入手できない状況でした。しかし対象者は入手できるのであれば、やはりこの感圧式タッチパッドを使いたいとの気持ちが強いようでした。そこで部品を組み合わせて同様のものが製作できないかと検討し、調査したところ実現可能であることがわかったため、マウススティックだけではなく感圧式タッチパッドも製作することにしました。

2 対象者プロフィール

60 代男性、身体障害者手帳 1 級、要介護 5 です。頸髄損傷です。家族と暮らしています。

3 対応

対象者が使っている製品はすでに入手できませんが、産業用に部品は供給されていることがわかりました。過去に静電容量式タッチパッドを組み立て、それを舌で操作する高位頸髄損傷者へ提供した経験から、今回、感圧式タッチパッド(供給メーカー：株式会社 DMC)を製作しました。なおメーカーWeb サイトからパソコンヘドライバーソフトをダウンロード、インストールした上でこのタッチパッドを接続すると問題なく動作しました。



本人使用の感圧式タッチパッド(廃番品)



試作した感圧式タッチパッド

4 結果

対象者から『マウススティックだけでなく、感圧式タッチパッドも使ってみたい。』との感想をいただき、本体をケースへ入れ、対象者が希望するクリック感のボタン及びその配置を検討してお渡ししました。

5 予算

6,000 円程度